

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・市場内廃棄物は専門の業者に委託し、適切に処理している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・光熱水費の毎月の使用量を記録保管し、エネルギーのコストカットに取り組んでいる ・太陽光パネルの設置、照明設備のLED化などエネルギー効率の見直しに取り組んでいる							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・光熱水費の毎月の使用量を記録保管し、エネルギーのコストカットに取り組んでいる ・太陽光パネルの設置、照明設備のLED化などエネルギー効率の見直しに取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・漁獲や採捕が禁止された漁獲物については流通させない仕組みを構築 ・ペットボトル削減のため再生容器を用いた飲料水サーバーの導入を実施している(福利厚生にもつながる)						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・魚函等のリユース、リサイクルに取り組んでいる ・電子帳票の導入、複写用紙の廃止等ペーパーレス化を継続して取り組んでいる										9.4				12.2 12.4 12.5	14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・光熱水費の毎月の使用量を記録保管し、エネルギーのコストカットに取り組んでいる ・定期的に排水溝のドレイン清掃を実施している ・各自節水意識をもって業務にあたっている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・今後も積極的に再生紙の使用に取り組んでいる											9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・ローリングストックに則り備蓄品に入替時期が到来した場合、フードバンク等に寄附をしている ・事業上、残渣がでるため、たい肥製造業者が回収する仕組みになっている		1	2				6.4								12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルの設置、照明設備のLED化などエネルギー効率の見直しに取り組んでいる								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6						9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6								11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・ペットボトル削減のため再生容器を用いた飲料水サーバーの導入を実施している(福利厚生にもつながる)															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・場内で使用するリフトはすべて電動を採用している ・社用車のエコカー化をすすめている(順次置換)											9.4			11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13						17.2

